

2025年度 第9回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2025年12月19日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前10時

閉会時間 午前10時45分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公治

委員（教育長職務代理者） 飯田 正巳

委員 升田 敏行

委員 鈴木 千佳

委員 島崎 栄子

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局 教育次長 永井 義久

教育総務課長 川崎 智朗

教育施設課長 谷口 祥規

学校教育課長 寺坂 浩司

幼児育成課長 向原 芳江

教育総務課参事兼課長補佐 旭 和則

教育総務課教育総務係長 足立 美由紀

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

○ 目程

第1 会議録署名委員の指名

島崎 栄子 委員

第2 前回の会議録の承認

11月20日（木）開催 第8回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

○ 議案第29号 令和7年度12月補正（第7号）教育関係予算案に関する意見について

- 議案第30号 教育財産の用途廃止について（竹野学園（前期課程））
- 議案第31号 教育財産の用途廃止について（城崎中学校）
- 報告第20号 寄附物件の受納について
- 報告第21号 令和7年12月市議会答弁概要について
- 報告第22号 とよおか教育プラン2026年度実践計画策定の進め方について
- 報告第23号 豊岡市立図書館本館の臨時休館について

第5 委員活動報告

開会 午前10時

（教育長）

ただ今から、2025年度第9回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

（教育長）

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、島崎委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

（教育長）

日程第2 前回の会議録の承認についてです。11月20日に開催しました第8回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんのお承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

（教育長）

日程第3 教育長の報告です。前回11月20日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

一般質問がありましたので、後で次長から概要説明をしてもらいますが、その中で私から皆様に1点だけ説明をします。義本みどり議員の質問ですが、犯罪や非行を何回も繰り返す再犯の連鎖というものがあり、この連鎖を止めるために福祉や教育で何かできないかという内容でした。

福祉は福祉で答えましたが、教育としてあるいは教育委員会としてどのように受け止め、どのようなことができるのかを答弁をしました。質問の通告を受けた時に1冊の本を思い浮かべました。『ケーキの切れない非行少年たち』という本です。この本は5年前に出版された本です。著者は現在、立命館大学の先生をしており、当時は、臨床心理士で医療少年院に勤めておられた方です。そこで自分が体験したことを1冊の本にまとめられていますが、ある時この子たちが何度も犯罪を行い、少年院に収監される原因は何かと探っている時、丸いケーキの絵を渡し、「これを三等分にしましょう」と問題を出したことがありました。ほとんどができませんでした。彼は愕然としましたが、それは三等分にする技能がないということではなく、当たり前に私たちはできると思っている、わかるだろうと思っていることが全く分かっていない、伝わっていないことに愕然としたのです。それ以外の問題では、ベビーカーを押している母親と隣に子犬がいて、四つ角がありそこに母親がいる。10分後に救急車が来たのだが、何が起きたのか危険なことはないかと危険予知の能力を調べるテストをするが、ほとんど予知できません。あるいは、自分の読む本が面白そうで隣の子が貸してと言った時にどう答えれば良いか分からず。そのようなテスト結果から分かったこととして、認知機能が低いからそのようなことが起きているのではないかと提起しています。これまで私たちは非認知能力についてよく話していますが、ここで話は認知能力です。認知能力の低さが何で分かるのかというと一般的にはIQです。IQが50や60ほどであれば知的な障害を持っているだろうと判断できるため、学校の特別支援学級の知的学級に入りその子たちにふさわしい教育をしてもらいます。しかしながら、70や80の境界線にいる児童生徒は判断しにくいため、見逃されてしまう。伝わっているか伝わっていないか分からずまま成長してしまう。教科書や先生たちが教えることは、境界線の子ではなく一般的なIQの知能指数を持つ子たちに向けて作られています。そこで見逃しが出でます。認知機能の弱さからトラブルや犯罪につながる例として、相手が睨んできた、ガンをつけてきたため喧嘩になる。これを認知能力の視点で分析すると、しっかりと相手が本当に睨んできたのかどうかが見られていない。ぼそぼそと話していて、自分の悪口を言っていると言い、喧嘩になる。しっかりと聞けていないことも、聞き方に歪みがあります。見方の歪みや聞き方の歪みがあり、あるいは言語能力が低い、判断力が低いなど一般的な認知能力がとても欠けているため、教科書35ページを開きなさいと言ってもそのことがしっかりと聞けておらず、35ページなのか34ページなのか分からずキヨロキヨロしていると先生から叱られる。そのようなことが重なり、自分はダメだと思い込んだり、相手に攻撃するようなことを覚えたりすると書いてあります。

これまで話してきたように、ここで言う認知能力とは、国語の漢字テストや算数の計算テストでよい点を取れる能力ということではなく、正しく見て、正しく聞いて、正しく話を理解したり、状況を正しく判断したりする能力のことです。

ではどのようにしたらいいのか。認知機能を改善するトレーニングが必要ということになります。コグトレと言いますが、認知をコグニッショーンと言い、コグニットトレーニングの略称です。認知能力を向上させるにはこのようなトレーニング、判断力にはこのようなトレーニング、あるいは視機能にはこのようなトレーニング、体幹や運動能力を身に付けるにはこのようなトレーニングと、様々なトレーニング方法が紹介されています。それを今的小中学校で学校教育としてできるところは通級指導教室です。今、通級指導教室を希望される方はとても増えています。指導者は現在10名です。10年前4人だったが、倍増しています。国は予算をもっと上げて、通級指導を充実させたい思いは持っているため、コグトレで書かれていることやノウハウをぜひ市内の

通級指導教室の中で取り入れていただき、その子によって何の認知機能が低いのかを分析、整理し、その子に適したトレーニングメニューを作っていくことが必要だと思います。一般質問のやり取りで改めて思いました。IQ70 から 85 相当は人口の約 14% です。1 割か 2 割は学校の中にいると考えています。そこまで通級指導教室で対象児童を増やすことはできていませんが、メニューの充実と、そういう視点で子どもたちの行動を捉え、認知の歪みからこのような行動をしているのかもしれないことを、私たちと先生たちが知っているかどうかで随分犯罪を防ぐことに繋がるかもしれませんし、寄り添うことになるかもしれません。市立図書館にも『ケーキの切れない非行少年たち』、皆様もぜひ手に取っていただきたいです。第 2 弾もあります。『どうしても頑張れない人たち』というタイトルで、頑張れ頑張れと頑張る子には支援するよとする先生がいますが、頑張ろうにも頑張り方がわからない、頑張れない子がいると書いているのが第 2 弾です。とても参考になるため、ぜひ読んでいただきたいです。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第 29 号は、この後議会に議案として提出され、議決を経るべき事項のため、豊岡市教育委員会会議規則第 17 条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

承認を得たため、議案第 29 号は非公開といたします。傍聴いただいている方は、申し訳ありませんが、非公開議案となりましたので、審議が終了するまで、ご退席をお願いします。

○ 議案第29号 令和7年度12月補正（第7号）教育関係予算案に関する意見について

« 令和7年度12月補正（第7号）教育関係予算案に関する意見について、幼児育成課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された。 »

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案は終了しましたので、退席いただいた傍聴の方はご入室ください。

(教育長)

続きまして、議案第 30 号 教育財産の用途廃止について（竹野学園（前期課程））、教育施設課長の説明をお願いします。

○ 議案第30号 教育財産の用途廃止について（竹野学園（前期課程））

« 教育施設課長の説明概要 »

教育財産の用途廃止について（竹野学園（前期課程））、資料に基づき説明する。

豊岡市立竹野学園が令和7年12月31日付で竹野学園後期課程に移転するため、建物、土地について用途廃止を行い、令和8年1月1日から普通財産とするものである。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、教育財産の用途廃止について（竹野学園（前期課程））、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、教育財産の用途廃止について（竹野学園（前期課程））、原案のとおり可決します。

(教育長)

続きまして、議案第31号 教育財産の用途廃止について（城崎中学校）、教育施設課長の説明をお願いします。

○ 議案第30号 教育財産の用途廃止について（城崎中学校）

《教育施設課長の説明概要》

教育財産の用途廃止について（城崎中学校）、資料に基づき説明する。

城崎町湯島地内にある消防団車庫の移転先として、城崎中学校のグラウンドの一部を利用する。
そのため用途廃止を行い、令和8年1月1日から城崎振興局地域振興課へ所管換する。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(島崎委員)

敷地に関して、使用に問題はないですか。

(教育施設課長)

学校に移転先として承諾をもらいました。

(島崎委員)

運動する時に問題はありませんか。

(教育施設課長)

特にありません。野球は反対側で行っています。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、教育財産の用途廃止について（城崎中学校）、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、教育財産の用途廃止について（城崎中学校）、原案のとおり可決します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第20号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第20号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

個人1件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第21号 令和7年12月市議会答弁概要について、教育次長の説明をお願いします。

○ 報告第21号 令和7年12月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和7年12月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和7年12月市議会の答弁内容について、ご承知おきください。

続きまして、報告第22号 とよおか教育プラン2026年度実践計画策定の進め方について、教育総務長の説明をお願いします。

○ 報告第22号 とよおか教育プラン2026年度実践計画策定の進め方について

《教育総務課長の説明概要》

第5次とよおか教育プラン2026年度実践計画策定の進め方について、資料に基づき説明する。

2025年2月に第5次とよおか教育プランを策定し、2025年度から2029年度までの豊岡市の保育教育に関する基本理念が示されている。実践計画では、基本理念を実現するための取組を定めており、取組の検証を行いながら2026年度の実践計画を策定する。

素案のとりまとめを行い、検討委員会で素案に対する意見交換、2月下旬に教育委員に素案を示し、意見をいただきたい。いただいた意見を踏まえ事務局で修正等を行い、3月の定例教育委員会で審議と決定をいただく予定である。その後、学校園と議会へ実践計画を配布する予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、とよおか教育プラン2026年度実践計画策定の進め方について、ご承知おきください。続きまして、報告第23号 豊岡市立図書館本館の臨時休館について、教育総務長の説明をお願いします。

○ 報告第23号 豊岡市立図書館本館の臨時休館について

《教育総務長の説明概要》

豊岡市立図書館本館の臨時休館について、資料に基づき説明する。

図書館本館は、長寿命化の改修工事を行っており、年明けからは館内の工事が始まる。臨時休館や利用制限をするため、お知らせする。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市立図書館本館の臨時休館について、ご承知おきください。

【日程 第5 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第5 委員活動報告に移ります。伝えたいことがありましたら、お願ひします。

(島崎委員)

11月に学校訪問させていただきました。中でも中筋小学校に行かせていただいた時が非常に印象的で、その時のお話をさせていただきます。児童に向けて定期的にアンケートをされている状況ではありますが、それを定点で児童の状況を把握され、校長先生自らが見える化を図り数値化をされて、例えば3月と9月がどう違うかを資料にされて、先生に配布し、生徒の状況を見て参考にしているというお話があり、とても素晴らしいことだと思いました。どうしてもアンケートをすることや分析することが目的になりがちではありますが、校長先生自らが「あくまで参考です。これだけに見えていることは知れていることです。」とはっきり仰ったことが非常に印象的でした。アンケートすることを、ただその時だけに終わらせず、しっかり学校活動に活かしているところが良いことだと思い、見学させていただきました。また、理科の授業の時にグループ分けで発表する内容を皆が取りまとめましたが、タブレットを使うグループと、使わないグループがあり、これはなぜだろうと質問させていただくと「自由に選択させているのです」と。タブレットを使うことが全てではない。使うことも良いことだとは思いますが、紙に書き意見をまとめることも、やりたければやるといいとして、選ばせているところも、とても素敵な取組だと思いました。そして、私は研修授業にとても感動しました。教育長から、「中筋小学校の子は、とても大人を信用している」という言葉がありましたが、その通りと思いました。手を挙げるわけではなくて、非常に発想力と想像力が豊かなことを躊躇することなくそれぞれの子どもたちが発言しており、それを先生がしっかりと受け止めて、授業を進めておられて非常に楽しい授業でした。方向性とゴールがあるため、なかなか全ての意見を聞いていると、授業の方向性がずれてしまうという先生の苦しさもあると思いますが、本当に子どもたちが楽しそうにというか、自分の言いたいことを言い、その中でも本当に大人では想像もしないことを言っていたことがとても印象的で、中筋小学校は非常に良い環境にあると感じました。

(升田委員)

前回の教育定例会からあまり日にちが経っていないですが、1つは出石の青少年健全育成の総

会に出ました。

子どもたちの IT や、そのような物を使う中での講演でしたが、今は小さい頃から子どもたちも持っている中で、学校でどのような事を子どもたちとそれを大事にしながら教えていくのかということが日々進んでいると思い、ただダメとするのではなく、実際にこうしたらこうなると、使い方を子どもたちと一緒に学習しながら、その健全な使い方をこれからしていかなければいけないと、先生のお話を聞き、思いました。

各小学校からは、子どもたちの総合学習で地域の方と一緒に行うとした報告や、出石中学校も同じような報告、生徒会活動の報告をしていただきました。高校は、女性が 1 人農家に行き、畑や農業体験をしたことを一生懸命話してくれました。それも面白いと思い、出石高校の子で農業体験かと思いながら聞いていましたが、高校もいろいろなことをさせているのだと感じ、生き残りをかけている点もあるのだという感じもありました。

もう 1 つは、人権関係で 11 月末の日曜日に兵庫県や大阪府を会場にして全国大会が行われました。全同研という形の総会です。豊岡でも市民プラザで行っていただきました。参加させていただいたのですが、豊岡も特に感じましたが、目の見えない方や、耳が聞こえない方がいて、特に耳の聞こえない方が中心となるお話でしたが、色々なマークが出てきたのですが、全く私は知らず、7 種類ぐらい出て、あまり豊岡では見ないような、例えば、電車の中で、「ここは盲導犬などがいても良い場所ですよ」としたマークや、「私はいろいろなことでハンデを負っているためここに座らせてください」としたカードや、そういった方に優しいなど、お互いにお互いを分かり合い暮らしていくことや、そういう生活のことを話されましたが、私は人権関係のことをさせていただいているが、本当に恥ずかしくなり、知らないことが多いと思いながら反省していました。金子みすゞさんのみんな違ってみんないいの話がありましたが、その後に、みんな違って難しいという言葉もあり、まさにその通りで、人をしっかりお互いにわかり合うことがこれから大切だと、そういうことで生きていかないとダメになると、子どもたちもそのようなことを学習していき、先生もそこで一緒に学習することが必要だと感じました。

(飯田委員)

私は 12 月 4 日に但馬教育委員会連合会の教育員研修会に行きました。その時の講師が新聞社の編集員でしたが、その人は、自分の体験、そして家族の苦悩、そのことをしっかりと皆さんに言われて、非常に感銘しました。そして、一方では怖くなりました。突然に自分の子どもが不登校になり何をしていいかわからない、家族はどうすればいいのかわからないとした状況を、淡々と話される度に、いつ我々もそういうことが起こるかわからないと。僕は本当に心が詰まる思いで聞いていました。今このことがどんどん広がる中で、これは大きな社会問題になるのではないかと危惧しながら、講師の先生が話された勇気に私は敬意を表しながら聞いていました。本当にいい勉強になりました。

もう 1 つは、先週 13 日ですが、日高町吹奏楽団のチャリティコンサートがあり観させてもらいました。日高町吹奏楽団も指導を受けながら、何年も何年も練習されてきましたが、本当に素晴らしい楽団になり、多くの方からも大分増えてきているという状況を聞き、喜んでいます。随分と豊岡の音楽レベルも上がってきていると思い、豊岡の文化度の高まりを感じた 1 日でした。

(鈴木委員)

先月は、学びの多様化学校の生野学園、県立不登校支援施設のやまびこの郷の視察に行かせていただきました。また、12月4日に但馬連合会の不登校から見る教育という講演会に参加させていただきました。今年はいろいろな研修が不登校をテーマとされており、これからは、学校の外に学びの居場所を選択することが普通になるように感じています。その中で少子化もありながら、子どもたちに公立の小中学校が選ばれていくために、どのように学校作りをしていかないといけないのかが今後大きな課題だと感じています。

また、様々な違う立場の方が不登校についてお話をされますが、必ず言われる言葉が個別対応という言葉です。先程の教育長の話にもありました、不登校に限らず、個別対応していくことが、とても教育の中では重点を置かれてくると思いました。その中で生野学園の校長先生が、「不登校となる子どもの要因の1つとして、人と深く関わったことがないことが挙げられる」と言られて、生野学園では、生徒と教員の一対一の関わりから信頼関係を土台とし、子どもの苦手、得意を探り個別対応に活かしているとお話をされていました。

私も子育てする中で、さらにコロナ以降、家庭の中でも学校生活でも、子どもたちが人と深く関わる経験が少し軽視されている、減少していると感じており、今の子どもたちはそこが少ないのかなと現状を見ながら感じています。

一見学力とは関係ないことで、ついつい省いてしまいかがちですが、より良い人間関係の中で子どもたちが安心して居場所を見つけ、そこから自ら学び出せることが理想だと私自身思っています。

先生方はお忙しく難しいところもありますが、子ども同士や、子どもと先生、それから子どもを囲む先生と保護者、先生方と地域の方などそのような人間関係の中で子どもたちを育てていただけることが、これからとても大事になり、不登校対策にも繋がると思います。より良い人間関係を子どもたちは求めており、良い関係の集団生活の中でいろいろな経験をすることもまた、子どもたちが求めている気がします。

(教育長)

以上で日程は終了となります、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、1月22日(木)午後2時から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これをもちまして、第9回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時45分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2025年12月19日

教育長

委員